

# 庄司紗矢香 & 小菅優

チャリティーコンサート  
「子どもの村福岡」建設支援



Stradivarius 1715 Violin Joachim

Sayaka Shoji

©横山進一

ストラディヴァリウスと鍵盤が奏でる珠玉の音色



©Kishin Shinoyama



Yu Kosuge

©Steffen Jänicke

2009年1月19日(月) 19時開演(18時30分開場)  
福岡シンフォニーホール(アクロス福岡1F)

■出演 庄司紗矢香 (Vn) Sayaka Shoji 小菅優 (Pf) Yu Kosuge

■曲目 シューベルト:ヴァイオリン・ソナティナ 第3番 ト短調 Op.137-3, D.408

ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番 Op.100

ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第7番 ハ短調 Op.30-2

[入場料]全席指定 4,000円

[チケット取扱所]アクロス福岡チケットセンター(2F) 092-725-9112  
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 301-871)

[主催]子どもの村福岡建設支援実行委員会(TVQ九州放送、福岡・オーストリア・ウィーン倶楽部)

[共催](財)アクロス福岡 [協力]  日本財団 [特別協力]  日本音楽財団

[協賛]九州電力(株)、福岡商工会議所、九州旅客鉄道(株)、西部ガス(株)、コカ・コーラウエストホールディングス(株)、  
(株)九電工、(株)ふくや、英進館、(株)安川電機、学校法人中村学園、大野城市まどかぴあ・男女平等推進センター、  
(株)千鳥饅頭総本舗 (順不同)

[後援]福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、朝日新聞社、  
読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、オーストリア大使館 (順不同)

お問い合わせ

子どもの村福岡建設支援実行委員会 092-737-8656  
福岡・オーストリア・ウィーン倶楽部事務局 092-716-4664

## 「子どもの村福岡」建設支援

## 庄司紗矢香 &amp; 小菅優 チャリティーコンサート

庄司紗矢香 (ヴァイオリン) Sayaka Shoji, Violin



ウィエニアフスキ国際コンクール<17歳までの部門>、ヴィオッティ・ヴァルセシア国際コンクールなど国内外のコンクールに優勝。99年第46回パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールに史上最年少、かつ日本人として初めて優勝し、一躍世界中から注目を集めるところとなった

2001年ルーヴル美術館でのリサイタルでパリ・デビューしたほか、テミルカーノフ指揮ボルティモア響のイギリス公演でロンドン・デビュー。02年ザルツブルクでヤンソンス指揮ベルリン・フィルと共演。03年にはメータ指揮ロサンジェルス・フィル定期公演に出演してアメリカ・デビューを行った。

これまでに共演した指揮者は、サヴァリッシュ、デイヴィス、マズア、マゼール、シャイー、デュトワ、アシュケナーズ、ベルティーニ、P.ヤルヴィ、ペリオなど。また共演したオーケストラは国内主要オーケストラをはじめニューヨーク・フィル、バイエルン州立管、フィルハーモニア管、チェコ・フィル、ベルリン響、ベルリン・ドイツ響、ハンブルク北ドイツ放送響、バンベルク響、ローマ・サンタ・チェチーリア管など。ヴェルビエ音楽祭へは定期的に出演しており、これまでにゴジエナ、ブロンフマン、プレトニョフ、ラン・ラン、レーピン、ハレル、ジャン・ワン、イツサーリスらと共演している。

近年はビシュコフ指揮ケルン放送響との中南米ツアー、テミルカーノフ指揮サンクトペテルブルク・フィルとのヨーロッパツアー、ボルティモア響、イスラエル・フィル、シンシナティ響、ロンドン響の定期公演などに出演。「多くのヴァイオリニストが当たり障りのない画一的な演奏をするなかで、確固たるカリスマ性と情熱的に作品に取り組む姿勢を兼ね備えた演奏家」と各国で高い評価を得ている。

録音では、メータ指揮イスラエル・フィルとの共演によるCDデビュー以来、これまでにドイツ・グラモフォンから5枚のCDをリリースしている。

5歳からヴァイオリンを始める。95年以降キジアーナ音楽院においてヴァイオリンをウート・ウーギ、室内楽をリッカルド・ブレンゴラに学び、97年には奨学金をイスラエルより得てシュロモ・ミンツに学んだ。これまでにザハール・ブロン、原田幸一郎、海野義雄らに師事。ケルン音楽大学卒業。99年度都民文化栄誉章、2000年出光音楽賞、07年第8回ホテルオーケストラ賞およびS & Rワシントン賞受賞。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1715年製ストラディヴァリウス“Joachim”である。

小菅優 (ピアノ) Yu Kosuge, Piano



現在ヨーロッパで、高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で最も注目を浴びている若手ピアニストの一人である。特に、『ダイナミックな音楽表現』(ハノーファー紙)や『天使の翼の先端が頬に触れた瞬間を感じさせるピアニシモ』(フランクフルト紙)などの批評を得て、ヨーロッパの聴衆から熱狂的な支持を得ている。2000年、ドイツ最大の音楽批評誌「フォノ・フォルム」よりショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられたほか、02年に第13回新日鉄音楽賞、04年にアメリカ・ワシントン賞、06年に第8回ホテルオーケストラ音楽賞、07年に第17回出光音楽賞を受賞している。

1983年東京生まれ。東京音楽大学付属音楽教室を経て、93年よりヨーロッパ在住。9歳よりリサイタルを開き、オーケストラと共演している。ヨーロッパを中心に演奏活動を重ね、その足跡は年に40カ所以上に及ぶ。

これまでに、国内主要オーケストラとの共演をはじめ、ベルリン交響楽団、フィンランド放送交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー、メクレンブルク・フォアポメルン国立劇場オーケストラ、サンクトペテルブルク交響楽団、シンガポール交響楽団、フランス国立放送交響楽団などのオーケストラと、また、小澤征爾、ルドルフ・バルシャイ、デニス・ラッセル・デイヴィス、ゲルト・アルブレヒト、アレクサンドル・ドミトリエフ、マックス・ボマー、オスモ・ヴァンスカ、ローレンス・フォスター、サカリ・オラモ、クリスティアン・アルミンクなどの各氏と共演している。

05年11月カーネギーホールでのリサイタルでニューヨーク・デビュー、06年8月にはザルツブルク音楽祭で日本人ピアニストとして2人目となるリサイタル・デビューを果たし、西村朗が小菅優のために書いた「カラヴィンカ」を世界初演したことが話題になった。また、07年4月には、小澤征爾指揮新日本フィルハーモニー交響楽団との共演で絶賛を博した。

室内楽にも積極的に取り組むほか、ラインガウ、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン等国际音楽祭からも招かれ各地で活躍している。

録音はこれまでにソニー・ミュージックより8枚のCDをリリース。著書に「情熱のカデンツァ」(NHK出版)がある。

公式ホームページ：<http://www.yu-kosuge.com/>

## 子どもの村福岡



NPO法人「子どもの村福岡を設立する会」は、SOSキンダードルフ\*の理念を基本として福岡に子どもの村を設立することを目的としています。日本でも、諸外国とはまた異なった状況を背景として、家族と一緒に育つことが困難な子どもたちが増えつづけています。しかし、児童福祉法に基づく社会的養護の実態は、このような近年の子ども達の急激な状況の変化に追いついていないのが現状です。

「子どもの村」では家族と暮らせない子どもたちを迎え、「新しい家族」をつくります。子どもたちが、実の親に代わる『育親(いくおや)』に守られ、自立して社会に出るまで安心して育つことができる場所、それが「子どもの村」です。子どもの

養育に直接関わる人々のことを、ここでは『育親(いくおや)』と命名しました。この「子どもの村」の実現が、「家族と暮らすことができない子どもたち」への新しい養護・養育のシステムを日本に創りだし、さらに各地に定着させることを通じて子どもたちの現状や社会的養護についての市民の理解を広げ、あらゆる子どもにとっての幸せな環境づくりに貢献するものと私たちは信じています。

※SOSキンダードルフ 1949年、第2次大戦後のオーストリアにはじまり、現在132の国に広がるNGO。SOSはSave Our Souls(魂の救済)を意味しています。

特定非営利活動法人 子どもの村福岡を設立する会 事務局  
〒810-0042福岡市中央区赤坂2-3-1 2F Tel/Fax 092-737-8655  
E-mail [fukuoka@cv-f.org](mailto:fukuoka@cv-f.org) URL <http://cv-f.org>

託児サービスの  
ご案内

託児サービス(生後4ヶ月から小学校入学前のお子様)をご希望の方は、チケットご購入の後、右記にお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付を行いません)までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

●(株)テノ、コーポレーション(月～金曜日 9:00～18:00)

☎0120-8000-20 tel. 092-263-8040

なお、託児料の一部としてお子様一人につき1,000円(消費税込)をご負担いただきます。